

LOOP

るうぷ

人権問題講演会

「未来をジェンダー平等社会にするために
～今の私たちに何ができるか～」

今年度の人権問題講演会のテーマはジェンダー！講演では、ユーモアを交えて身近なアンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）の例と、それが男女それぞれの生き方を縛っていることに気づかされ、楽しいながらも気づきの多い時間となりました。



日本の偉い人は男だらけ？

容姿や若さが評価されがちな女性に對して、年齢を重ねることに貫録や権威が増すと見られる男性。多数の人が共通に思っていないそうだけど、誰かに教わったわけではないのになぜ？また、「資質や実績があっても女性が上の地位につくのを妨げる『ガラスの天井問題』。日本の天井は特に低くて強固」と先生は話します。女性であるという理由で、適切に評価されないことが今でも現実起きています。

一方で、男性が抱える問題のひとつが、働きすぎ・長時間労働問題。

「問題と言われ続けながら、30年も解決してない」と先生。日本では夫婦が同じ時間働いても、男性の賃金を100としたときに女性は75程度なので、夫がたくさん働くほど家計が潤うため、妻より夫が働くという結果になりがち。さらに「男性は定年退職まで働き続けるもの」と男女ともに強烈に思い込まれている人が大多数。家事や育児をもっとしたい男性がいてもできない環境が揃ってしまっています。

「平日昼間問題」と「きょうよう・きょうい問題」

平日の昼間に男性が外をうろろすると「働かずに何を？」と不審者に思われるのが平日昼間問題。そして、長時間労働の末に定年退職した男性は、趣味も友達も家での居場所もなく「今日用(きょうよう)がない」「今日行く(きょうい)所がない」という悲しい事態に直面します。ジェンダー問題って男性にとっても深い問題なのです。



未就学児もジェンダーに
捉われている!?

新小学一年生に聞いた、なりたい職業調査(株クラレ)によると、男女で明らかに傾向の違いが見られます。女子は協調性や優しさ、美しさを求められるような職に對し、男子は競争や達成、強さ等が求められる職。同社が親に対して子に就かせたい職をきいた調査結果にもその傾向があります。親から、テレビ等の社会から、先生から、ジェンダーイメージの刷り込みの上に将来

を考えてしまう。子どもたちの本当にしたいことはなんだろう？

積極的寛容を身につけよう

私たちは、無意識にジェンダーの枠にあってはめることに疑問を持たなくなっています。自分も他人も枠にはみず自由に捉えてみましょう。ここでのポイントが「積極的寛容さ」。寛容には積極的寛容と、消極的寛容がある。積極的寛容は、自分と異なる価値観を持つ人に敬意を持つこと。消極的寛容は、他人が何をしようが興味がないこと。私たちが持つべきは「積極的寛容さ」。これをどう実践に活かすかが誰もが生きやすい金沢を作るカギとなるはず。

あなたはまず何の思い込みの枠から自由になりますか？



講師はこちら!



人権問題講演会

日時 令和5年8月8日(火)

場所 金沢歌劇座

参加者 約130人

● 講師 田中俊之

大妻女子大学 人間関係学部 准教授
男性であるがゆえに抱える問題に着目した男性学の第一人者。

主な著書

- ・男子が10代のうちに考えておきたいこと(岩波書店)
- ・男が働かない、いいじゃないか!(講談社)
- ・男がつかないよ - 絶望の時代の希望の男性学 - (KADOKAWA)など多数

学生からみた金沢のジェンダー問題

講演のあとのパネルディスカッションでは、田中先生と4人の金沢大学の学生が普段の生活で感じたジェンダー問題を話し合いました。学生が指摘してくれた身近なモヤモヤ。その中の一部を抜粋しました。

博士課程に進学すると男性ばかり。大学の理工学部にも女性の先生が赴任してきた時、男子学生たちが「理系の先生なんかして…。だから結婚できないんじゃない。」といった話をしていて不快だった。

アルバイト探して、アパレルの求人情報を見て連絡しても女性しか募集してないと言われる。男性が応募しづらい雰囲気がある。

就活で日系の航空会社に行ったら、パイロットはほぼ男性で、客室乗務員はほぼ若い女性。海外では年配の女性も男性も客室乗務員として活躍してるのに！

就職活動の際、女子学生たちは復職のしやすさや福利厚生を気にしながら会社を選ぶ一方で、男子は給料、会社の知名度や入社難易度を重視して会社を選んでいる。

個性を出せる場面が増えてはいるけど、男が髪を伸ばしたまま就活できるかという無理。

アルバイト先で自分よりずっと仕事のできるパートの主婦の方との時給の差が数十円で、能力差を思うとなんかモヤモヤする。

男性は働いて当たり前という風潮で、男は働くか働かないか選ぶこともできない。



金沢市内の男性の育休取得者へのインタビュー記事公開中!!

詳しくはこちら ▶



男女共同参画支援セミナー

生活に役立つ講座を楽しく受講してみませんか？みなさまのご参加をお待ちしております！



金沢市女性センター
金沢市三社町1番44号
(石川県女性センター3階)
※金沢駅より徒歩12分
TEL 076-233-1265
FAX 076-223-6299

詳しくはこちらから



男女共同参画出前講座 講師派遣します! 無料

職場や地域、団体の研修会や講習会などに講師を無料で派遣しています。

テーマ例

- 男女共同参画ってなに？
- 女性に対する暴力と護身術
- ワークライフバランス
- DV・デートDV など

※男女共同参画に関するテーマに限ります。

ダイバーシティ人権政策課

詳しくはこちらから



金沢市女性相談支援室 (配偶者暴力相談支援センター)

DV、夫婦問題、離婚…その他女性が抱えるさまざまな不安や悩みの相談に応じます。(面接・電話)

相談専用電話 **076-220-2554**

月曜日～金曜日 9時～17時
(祝日、年末年始除く)

詳しくはこちらから

※特別相談(弁護士相談、臨床心理士相談、カウンセリング)は予約制です。
※DV被害男性のDV相談もお受けしています。



発行月 令和6年1月
発行 金沢市ダイバーシティ人権政策課
所在地 〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号

TEL 076-220-2095 FAX 076-260-1178

X(旧:Twitter) @jinken_kanazawa

金沢市 男女共同参画

